

教育委員会関連事務報告(9月分)

令和8年10月1日

こども園、小・中学校にて2学期始業式 挙行

令和8年9月1日(火) 楽しかった夏休みが明け、学校に賑やかな子どもたちの声が戻ってきた。

「背が伸びたね!」「日焼けしたね!」と、久しぶりに会う子どもたちの成長した姿に、教職員が声をかけた。校長からは、「9月1日は『防災の日』。1学期の終業式では、自分の命を守ること、そして普段の生活のありがたさについてみんなで考えた。2学期は行事も盛りだくさんで、日々の小さな感謝を大切に分かち合いながら、一人ひとりが輝ける学校生活をつくっていきたいと思います。」と全校児童に呼びかけた。



こども園、避難訓練を実施

令和8年9月3日(木)に、こども園にて避難訓練が行われた。当日あいにくの雨だったので、ホールへの避難となった。園長先生から園児に避難の様子を聞くと、「つくえのあしをもったよ」「あたまをかくしたよ」という声が聞こえ、訓練の積み重ねの意義を感じた。また、備蓄品の卵スープや野菜ジュースを食べたり飲んだりして、避難したときには防災食を食べるという体験をすることができた。

木曽岬中学校で「夢に向かってがんばる木曽岬っ子応援キャンペーン講演会」を開催

令和8年9月7日(月) 中学校にて、青少年育成町民会議の取り組みとして大嶋啓介さんに「夢を持てば人は輝く ～夢は必ず叶う～」をテーマに講演をしていただいた。中学生 98 人、教職員 15 人、一般の方 22 人が参加し、2時間熱のこもったお話に会場は大いに盛り上がった。大嶋さんからは「可能性を信じる」「自分を信じる」ことが大切で、「自信」「感謝」「ワクワク」といったキーワードをあげて、究極の夢の叶え方を教えていただいた。

木曽岬中学校 授業公開週間及び文化展示

令和8年9月14日(月)～18日(金)の5日間、保護者を対象に授業公開と文化展示を行った。中学校では、保護者対象の授業公開が年間2回(6月・9月)計画されており、今回は各教科の授業で作成した作品や美術ボランティア部の作品などの展示も行い、生徒一人一人のがんばりを参観いただくことができた。

また、期間中は、県教育委員会や町教育委員会の指導主事も授業を参観し、教員の授業力向上に向け指導助言を行った。



小学校で芸術鑑賞会を実施



令和8年9月8日（火）、ラストラダカンパニー有限公司社による演劇「サーカスの灯（ひ）」を鑑賞した。舞台上で展開されるのは、言葉を使わない「ノンバーバル」の世界。最初は「どんなお話かな？」と見守っていた子どもたちも、クラウンたちのコミカルな身振り手振りやパントマイムに、いつの間にか目を輝かせて引き込まれていた。

言葉がなくても伝わる感情の豊かさや表現の深さを学び、大満足の笑顔が溢れる一日となった。

小学校プール授業を開始

小学校のプール授業は、今年度から飛島村のプール施設を利用した水泳学習となった。9月9日（水）から始まり、10月2日（金）までの予定で授業を行う。

専門のインストラクターによるサポートもあり、水が苦手な子ども得意な子ども、みんな笑顔でワクワクしながら取り組んだ。各学年、全5回の授業と、1・3・5年生を対象とした「着衣水泳」など、万が一の時に命を守る大切な学習も行う。他地域の施設や専門家のお力を借り、子どもたちの安全で確かな学びを支えていく。



こども園、交通指導、けんにい運動遊び

令和8年9月10日（木）に、こども園にて、子どもたちが毎月楽しみにしている講師を招いての運動遊びが行われ、4・5歳児が参加した。準備運動から始まり、鬼ごっこやドッジボールなどで体を動かしながら、ルールのある遊びを楽しく経験する時間となった。

また、ICT機器を活用して紙芝居「遊びながらあるいちゃだめ」を視聴した。遊びながら歩くことの危険性などを子どもたちに伝え、日々の生活の中でも安全を意識できるようにと、年間を通して内容を工夫している。園での出来事を、子どもたちは家庭に帰り、話をしているようである。

令和8年度木曽岬町総合教育会議 開催

令和8年9月18日（金）、役場4階会議室にて町長部局主催により開催された。

本会議は、町長が公の場で教育委員の皆様へ教育について意見を求めるとともに、教育について考えていく場で、今年度は、「外国人児童生徒支援教育の推進について」「教職員に係る業務量管理の報告について」、様々な意見が交わされた。

全国大会出場を激励

令和8年9月24日（木）に、全国大会出場に伴う激励金の交付式が役場町長室で行われ、“第10回全日本自転車競技選手権大会 BMX フリースタイル（10/9～10/12、岡山市杜の街グレース 北側屋外特設会場）”に出場する、木曽岬小学校3年生の服部（はっとり）隼大（はやと）さん（※）に三輪町長から激励金が授与された。服部さんは4月23日（木）～26日（日）に愛知県名古屋市 オアシス 21 にて開催された“マイナビ Japan Cup Nagoya”と、6月4日（木）～7日（日）に神奈川県横須賀市 ヴェルニー公園にて開催された“マイナビ



Japan Cup Yokosuka”にて、BMX フリースタイル・パーク・チャレンジのボーイズ 7-8 のカテゴリーにおいて、両大会で第 1 位となり全国大会への切符を手にされた。

服部さんからは「絶対 1 位を取りたい。」と力強い決意表明を頂いた。

小学校 避難訓練を実施

令和8年9月24日（木）、休み時間中の突然の出火を想定した避難訓練を実施した。

先生が近くにいないかもしれない休み時間だからこそ、大切になるのは「放送や指示をしっかりと聞くこと」と指導し、避難後は、3階からの救助シューターの実演も目の前で見学し、災害の備えについて深く考えた。「いつでも、どこでも、自分の命を守る行動がとれる子」を目指して、これからも放送に耳を傾けることや一瞬の判断力を日常の中で育てていく。



「伊勢湾台風から学ぶ」授業の実施

令和8年9月25日（金）木曾岬小学校ふれあいホールで、小学4年生を対象に、「伊勢湾台風から学ぶ」授業を行った。当日は、町内在住の大橋光則さんを講師にお招きした。大橋さんは、小学生の頃に伊勢湾台風を経験され、伊勢湾台風の被害状況や、ご自身の体験談をお話いただいた。授業後に大橋さんのところへ行行って、質問している子もおり、今後の自然災害とわたしたちのくらし」の学習にもつなげていくとのことである。

第29回ファミリーグラウンドゴルフ大会 開催

令和8年9月27日（日）木曾川グラウンドを会場にスポーツ 協会主催による“ファミリーグラウンドゴルフ大会”が開催された。今にも雨が降りそうな曇天ではあったが何とか持ち、一般の部34名と小学生以下のジュニアの部5名の計39名が参加した。

台風の接近もあり少し蒸し暑い中、参加者は北コースと南コースの16ホールを順番に回り、あちこちでボールを打つ乾いた音と笑い声が聞こえた。また、今大会ではホールインワンが4人出て、中には一人で2回出す参加者も出るなど大いに盛り上がった。



英語検定(準会場)の実施について

令和8年9月27日（日）、木曾岬中学校で英語検定を実施した。木曾岬町では、中学校卒業時に英検3級程度の英語力を習得することを目標に英語教育を進めており、当日は、29 名の中学生が準2級から5級の検定に挑戦した。生徒たちの真剣に英語に取り組む姿が見られた。



小学5年生 野外体験活動 実施

令和8年9月28日（月）・29日（火）、四日市市少年自然の家にて野外体験活動を実施した。当日は曇り空であったが、ネイチャーウォークラリーやカヤック体験、キャンドルファイヤー、木ホルダー作りなどの野外体験等を実施し、「自然環境について考える」、「自主性や仲間と協力する態度を養う」、「友情を深め、楽しい思い出を作る」の3つを目的に、充実した時間を過ごすことができた。今回の体験を、今後の学校生活に活かして欲しいと考える。